

# 令和5年度 年間指導計画

E環境19

A科:動物科学科 B科:植物科学科 C科:食品科学科 D科:人間科学科 E科:環境科学科

教科	工業	科目	地球環境化学	単位数	3	学年・学科	3学年・E科(選択)
教科書	実教出版「地球環境化学」		副教材				

学習目標	<p>○地球環境に関心を持ち、意欲的に課題を追求するとともに、みずから課題の解決に向けて考えます。</p> <p>○環境問題の発生原因・背景と人間の生産活動・経済活動との関連をとらえ、次世代に向けての責任を自覚します。</p> <p>○環境保全技術の知識を持ち、取り組みを理解します。</p>
学習方法	<p>○教科書を使って知識を身に付け、資料を収集し、最新のニュース、身近な話題と結び付け、理解を深めます。</p> <p>○課題を発見し、解決に向けて対話的行動を行い、発表します。</p>

学	習	評	評価の観点	評価の観点の趣旨	学期	重み付け	割合	
							調査	調査以外
学	a	関心・意欲・態度		地球環境に関心を持ち、意欲的に課題を追求するとともに、みずから課題の解決に向けて考える態度が身についている。	前期中間	25%	15	10
					前期末	25%	15	10
					後期中間	25%	15	10
					後期末	25%	15	10
	b	思考・判断		地球環境の諸問題をさまざまな観点から、総合的にとらえ考察することができ、発生の原因・背景と人間の生産活動・経済活動との関連をとらえることができる。	前期中間	25%	15	10
					前期末	25%	15	10
					後期中間	25%	15	10
					後期末	25%	15	10
	c	技能		環境問題について、多面的に資料を収集し、比較検討することができる。	前期中間	25%	15	10
					前期末	25%	15	10
					後期中間	25%	15	10
					後期末	25%	15	10
d	知識・理解		地球環境のなりたちから、そのしくみについて知り、大気・水域・土壌・生態系、それぞれについて基礎的な知識をもち、問題点を理解している。	前期中間	25%	15	10	
				前期末	25%	15	10	
				後期中間	25%	15	10	
				後期末	25%	15	10	

学期	単元名 (題材)	学習内容 (小単元)	評価の観点				単元の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前 期 中 間	第1章 地球と環境と人間	1節 地球と人類について学びます。	○	○	○	○	a:地球のなりたちに関心をもち、地球環境の学習を通じて、積極的に地球環境問題の解決を考える態度が身についている。 b:自然の営みを知るとともに、人間の生産活動、経済活動が地球全体に与える影響について考察し、表現することができる。 c:相互に複雑に影響を与え合う地球環境問題についての諸資料を、さまざまなメディアを利用して収集し、課題をみつけることができる。 d:原始地球から、現在の地球への変化が生物とのかかわりの中で行われ、このかかわりが人間活動により問題が生じていることを理解している。物質の循環の意味について理解している。	・課題の取り組み ・定期調査
	第2章 地球環境	1節 大気環境について学びます。 2節 水の環境について学びます。 3節 土壌の環境について学びます。 4節 環境と生態系について学びます。	○	○	○	○		
前 期 末	第3章 人間活動と環境	1節 人間活動を支える物質資源について学びます。 2節 人間活動を支えるエネルギーについて学びます。 3節 化学物質の影響について学びます。	○	○	○	○	a:さまざまな資源の消費が人間活動を支えていることに関心をもち、有効に利用していくための考え方や態度が身についている。 b:生活の豊かさや便利さを追求する中で、資源を有効かつ安全に利用していくため、どのように生活の中で実践することができるかを考えることができる。 c:物質資源やエネルギー資源の活用、化学物質の影響についての技術や情報は、その変化が速い。 d:さまざまな資源が、形態を変えて私たちの生活が支えられていることを理解している。	・課題の取り組み ・定期調査

後 期 中 間	<p>第5章 環境の保全</p> <p>第6章 廃棄物と環境</p>	<p>1節 排ガスの処理について学びます。</p> <p>2節 排水の処理について学びます。</p> <p>3節 生産技術と環境保全について学びます。</p> <p>1節 廃棄物の現状について学びます。</p> <p>2節 廃棄物の処理と有効利用について学びます。</p>	○	○	○	○	<p>a: 環境保全、廃棄物利用について関心を持っている。</p> <p>b: 環境保全、廃棄物利用の行動指針を考えることができる。</p> <p>c: 環境保全、廃棄物利用について資料を収集することができる。</p> <p>d: 環境保全、廃棄物利用の意義を理解している。</p>	<p>・課題の取り組み</p> <p>・定期考査</p>
後 期 末	<p>第7章 持続可能な社会構築のためのしくみ</p>	<p>1節 環境問題への取り組みについて学びます。</p> <p>2節 環境の管理と評価について学びます。</p>	○	○	○	○	<p>a: 過去に発生した環境問題、また、今後発生が予想される問題について関心をもち、主体的に解決策を探る態度が身についている。</p> <p>b: さまざまな環境問題が、どのように発生し、それに対して法律がどのように構築されたか、さらに今後、どのように取り組んでいこうとしているのかを知り、個人の考え方をみなおすことができる。</p> <p>c: 法令を各種資料やインターネットで調査したり、法令成立の背景を調べることができる。</p> <p>d: 法令が成立した背景を知り、環境に関する条約や法令のもつ役割や意味を知り、将来、世界が歩むであろう方向性についての理解を深めている。</p>	<p>・課題の取り組み</p> <p>・定期考査</p>